

基本方針と全体の流れ

基本方針

- 「プライバシーレポート」にもとづき、主に通秘にかかわる位置情報を利用した実証・検証とする。
- 1つ以上のユースケースを設定して実証・検証を行う。①社会視点として位置情報利活用が社会にもたらすベネフィットの提示、②技術視点として個人の特定性を低減するための手法の検討・適用、③運用視点としてプライバシー影響評価(PIA)の試行、④利用者視点として利用者への対応(意識調査等)といった多角的な視点から検討する。
- 個人の特定性の低減については、低減化手法等について保証を与えるような基準は策定しないものの、ユースケースが限定された中で可能な限り具体的な目安を整理し、以後のビジネス等を検討する際の参考とすることをその目的とする。
- 上記低減化手法の適用やPIAの試行等が、利用者にとどのよう受け入れられるかについても参考として併せて調査する。
- ユースケースにおける低減化手法の検討においては、必要なデータ量を確実に得るため、ダミーデータの使用も可能とする。
- 上記の点を踏まえ、4月中旬までに実証・検証の方針案・要件案を検討するものとする。

全体の流れ

